



# 悠紀だより

甲府市立石田小学校  
令和2年7月15日  
Vol. 6  
校長 雨宮秀樹

## 児童総会

例年の児童総会は、3年生以上の児童が一堂に会し、2時間ほどかけて本部の提案する児童会活動について質疑応答・決議していきま



す。しかし、今年は「密閉・密集・密接」の3密回避のため、広い体育館に各クラスの学級委員長だけが代表で参加し、休み時間だけという短い時間で行いました。

主要な活動のうちの1つ「スマイルいっしず ～あいさつ運動」では、クラスが玄関に集まることができないため、「スマイルあいさつ隊」を作りあいさつ運動を行うこと。また、「アイコンタクト」を大切にしながら「スマイル」もプラスして「小さな声でも心が繋がるようにする」そうです。先日、東京ディズニーリゾート再開のニュースの中で、「ミッキーやプーさん達ともソーシャルディスタンス……。一番大切にしてきたキャラクターとの触れ合いができないため、身振り手振りアイコンタクトで、ゲストと心を繋ぐことを大切にします」という紹介がありました。今年の児童会本部は、世界の超一流企業と同じ発想・同じ取組をしています。

この他にも、「スリッパプロジェクト」「コロナプロジェクト」等、学校における「新しい生活様式」を創設しています。子どもたちは、コロナ禍で下を向くのではなく、新しいアイデア・エネルギーが溢れています。

## 石田小学校のコロナ対策について

新型コロナウイルス感染症には、長期的な対応が求められています。子どもたちの教育を受ける権利を保障するためには、学校における感染、及び、感染拡大のリスクを可能な限り軽減すると共に、その取組を持続可能なものにしていく必要があります。現在、学校では、3密を避けると共に、マスク・手洗いなど基本的な感染予防対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、一人一人の実践・行動変容を進めています。

学校での感染拡大を防ぐためには、何よりも各家庭との協力が不可欠です。毎朝の検温や風邪症状などの確認・健康観察、清潔なハンカチ・ティッシュ・マスクの携行など、今後もよろしくお願いいたします。

今学期は、コロナ感染拡大防止のため、保護者の皆様に学校に来ていただき、子どもたちの様子を直接御覧いただく機会が持てませんでした。また、2学期以降もその時々状況に応じて判断し、対応・対策を講じていかなければなりません。お家の方からすると、学校の様子が伝わりにくくなっている分、ご心配なことも少なからずあろうかと存じます。

先週一週間、(健康管理期間を設けた上で)PTA執行部の方々に学校に来ていただき、石田小学校のコロナ対策の様子を見ていただきました。朝の登校、始業前、授業中、休み時間、給食、掃除、下校・・・等、学校生活における様々な場面を御覧いただきました。以下に、PTA会長・副会長さん方から戴いた御意見の一部を載せました。学校のコロナ対策の様子が少しでも伝わり、ご安心いただければと思います。

## (1)石田小学校の「コロナ対策への取組」について

### ①好事例として高い評価をいただける点

- ・低・高それぞれの玄関前で、密にならないよう立ち位置が示してあり、教頭先生等の声かけも行われていた。
- ・非接触式の電子体温計を持ち、朝の検温を忘れてしまった児童への対応がなされていた。(朝の検温をしていない子は少数ということで、家庭の教育力の高さも感じた)
- ・感染拡大予防のため、学年ごとに廊下の移動コースを設けている。廊下にも2mのキープディスタンスを取れるようマーキングされていた。



- ・各教室の入り口にアルコールがあり、子どもたちがその都度消毒できる。手指消毒のタイミングを示す掲示もあった。
- ・水道やトイレも、並んで待つ間隔を分かりやすく表示してある。低学年の校舎では足跡があり、待ち時間も楽しくなるよう工夫されていた。
- ・どの学年も、トイレのスリッパが整えられていた。トイレの衛生環境が整理されているのは重要だと感じた。
- ・保健室入り口で要件を伝え、発熱の子は別室で保護者の迎えまで休養・待機できるようになっていた。感染を広げない対策が取られている。
- ・図書の貸し出しは、クラスを2～3のグループに分けて行っている。対面のイスに座って読書ができないようになっていた。
- ・図書室の本を1冊ずつ消毒している。図書委員会の子は、消毒後に書棚へ戻すということも徹底されていた。



・遊具やボールの使用・図書室の本の家庭への持ち帰りなど、禁止するのではなく、手洗いの徹底を指導し、これまで通りできることは良いと感じた。

・給食調理員が、教室までワゴンを運んでいる。外部との接触を避けるため、児童が食器などを給食室へ返却することも禁止している。

・給食の配膳は、担任の先生が汁ものの盛り付けを行っていた。お代わりも、担任の先生が担当するなど、子ども同士の接触をできるだけ少なくしていた。

- ・個包装されたパンが提供され、袋の上から半分にして分けていた。
- ・給食時の飛沫を無くすため、子どもたちは喋らずに静かに食べている。



- ・低学年では、頻繁にソーシャルディスタンスの確認が行われた。机の配置も工夫してある。
- ・広い教室を使ったり、分散して授業したりすることで、密にならないように工夫していた。
- ・熱中症予防のクーラーをつけながら、換気のために窓も開いていた。風通しが良く、かつ、涼しかった。
- ・教室と廊下の窓を開放して2方向の常時換気と、サーキュレーターの利用による密閉空間にならない対策が取られていた。
- ・英語の先生がフェイスシールドを逆に装着(おでこに当てる部分を顎に装着する)し、授業を進めていた。(児童の感染予防を第一に考えた為と知り、感動した。)
- ・委員会や学級の係なども、子どもたちができることを工夫して行っていた。
- ・下校時の下駄箱での密を避けられるよう学年ごとに時間差があり、また、集合する場所を変えていたことも良いと思った。
- ・子どもたちの下校後、毎日、職員が消毒作業を続けている。

## ②改善の余地があると感じられた点

- ・窓が閉まっているトイレがあり、換気の必要を感じた。
- ・水道の蛇口は手洗い後に触れてしまう。蛇口も一緒に洗う習慣がつくと良い。
- ・トイレの水栓が蛇口ではなくセンサー式なら、コロナだけでなくノロウイルス等他の感染症対策にもなる。
- ・手洗い後はペーパータオルが望ましいが、費用的に厳しい。
- ・児童の中には、手洗いなど簡単に済ませてしまう子がいた。先生の見ていないところで洗わない子、言われてもマスクをつけない子……。一人一人がしっかりすべきであると感じた。
- ・玄関付近に除菌マットなどがあれば、一層の除菌対策になる。
- ・教室の天井についている使用禁止の扇風機が、使えるようになれば良いと思う。
- ・校庭の使用日が決まっているため、天気によっては遊べない学年が出てしまう。校庭使用の予備日などを設けると良い。
- ・マスクをしていると喉の渇きを感じづらいと思うので、休み時間なども一斉の水分補給の時間を設けたらどうか。
- ・休み時間は、担任以外の職員が巡回するなどして、多くの目で子どもの指導にあたると良い。



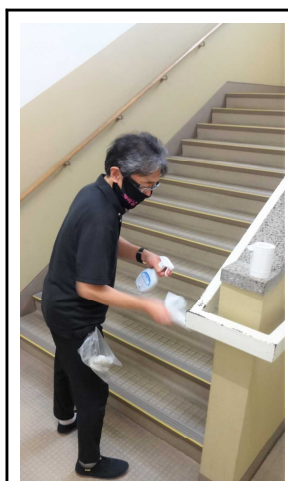
### ③PTA組織として取り組んでいけそうなこと、各家庭に呼びかけていくこと

- ・我が子の健康観察や、手洗いなどの徹底を各家庭内でしっかりできるよう呼びかける。
- ・各家庭で、大人も一緒に正しい手洗いの仕方を身に付けていきたい。
- ・家庭でも日頃から子どもの様子を注視し、異変に気づき早期対処できるよう心がける。
- ・発熱時や体調不良の時は、自宅で休養させる。
- ・学校では水際対策として、感染症を校内に持ち込ませないこと、万が一に備えた感染予防を徹底していた。家庭でも感染対策・予防の継続的な教育が必要だと感じた。
- ・学校で感染対策を頑張っている、外(家庭)から持ち込まれることが怖い。各家庭で危機感の持ち方は異なると思うが、集団生活へ送り出す子どもだけでなく家族全員の体調把握にも注意すべきと思う。
- ・ボランティアを募集し、学校の消毒作業などの協力を募りたい。しかし、外からの出入りはなるべく避けた方が良いため、難しい。



### (2)再開後の「子どもたちの様子」等について

- ・近所の公園で遊んでいるときも、マスクをつけている子が多い。どの学年も不織布のマスクが多かった。低学年ほど布マスク、高学年ではウレタンマスクが見られる。
- ・休校中は運動不足で不規則な生活が続いていたが、再開後は顔も引き締まり、改めて学校での生活が子どもたちの成長に大きく影響があると感じた。
- ・休校があったからこそ、学校に行き・友だちと会い・活動できることに喜びを感じていると思う。気をつけなければならないこともたくさん増えているが、笑顔で過ごしている子どもたちの姿を見ることができ、ほっこりした。
- ・制限がある中でも子どもたちの笑顔は変わらないと感じた。先生方もソーシャルディスタンスには配慮しているが、無闇に会話を制限するのではなく、休み時間など楽しそうにおしゃべりしていた。



児童の下校後、毎日校舎内の消毒作業を行っています。階段の手すりの汚れ具合から、子どもたちが頻繁に触っている様子がわかりました。

### (3) その他

- ・(この状況の中、仕方の無いことではあるが)我が子の授業の様子を参観したいという保護者は多いように感じる。
- ・日々新しく変わっていくガイドラインに対応し会議を重ね、コロナ禍の中でもできることを最大限に努力していただいている。
- ・先生たちが、日々大変な思いをしながら子どもたちの感染予防に取り組んでいることを感じた。
- ・急増する仕事量の中で、答えのない難しい問題一つ一つに取り組まれていることに感謝します。

PTA執行部の皆さんより、たくさんの勇気づけられる御意見をいただきました。新たな視点も戴き、今後に生かせるよう検討してまいります。学校での子どもたちの様子は、学校だより・学年だよりの他、学校のHPにも載せています。是非、御覧ください。